

# 平成14年度定期作況報告

8月20日現在  
北海道立根釧農業試験場

## 気象概況

7月下旬から8月中旬までの気象概況は次のとおりである。

7月下旬:最高および最低気温が19.8および12.1 で、それぞれ平年より2.7および2.5 低かったため、平均気温は16.0 で平年より2.5 低かった。降水量は31mmで平年より11mm少なかった。日照時間は29.7時間で平年より8.5時間多かった。

8月上旬:最高および最低気温が19.4および11.6 で、それぞれ平年より2.7および2.6 低かったため、平均気温は15.5 で平年より2.7 低かった。降水量は55mmで平年より16mm多かった。日照時間は22.2時間で平年より9.7時間少なかった。

8月中旬:最高および最低気温が18.6および12.7 で、それぞれ平年より3.3および1.7 低かったため、平均気温は15.7 で平年より2.5 低かった。降水量は20日の台風13号の影響を受け87mmで、平年より36mm多かった。日照時間は15.4時間で平年より13.4時間少なかった。

この1ヶ月間は総じて、気温は低く、降水量は台風13号の影響を受け多く、日照時間はやや少なく推移した。

気象表

項目	7 月 下 旬			8 月 上 旬			8 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ( )	16.0	18.5	2.5	15.5	18.2	2.7	15.7	18.2	2.5	15.7	18.3	2.6
最高気温 ( )	19.8	22.5	2.7	19.4	22.1	2.7	18.6	21.9	3.3	19.3	22.2	2.9
最低気温 ( )	12.1	14.6	2.5	11.6	14.2	2.6	12.7	14.4	1.7	12.1	14.4	2.3
降水量 (mm)	31.0	42.0	11.0	55.0	39.0	16.0	87.0	51.0	36.0	173.0	132.0	41.0
降水日数 (日)	8	6.3	1.7	8	4.5	3.5	8	5.2	2.8	24	16.0	8.0
日照時間 (時間)	29.7	21.2	8.5	22.2	31.9	9.7	15.4	28.8	13.4	67.3	81.9	14.6

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) 日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) は負の値を示す

## . 当 場 作 況

### 1. とうもろこし

作況：不良

事 由 7月下旬から続く低温のため生育は遅れ、抽雄期は「ヒノデワセ」の平年に比べ12日遅かった。また、抽糸期は8月20日までには観察されなかった。「エマ」のステージ進行の遅速についての判断は、平年値が得られている品種が異なっているため一概にできないが、抽糸期での「エマ」と「ヒノデワセ」の平年値の違いを考慮しても、本年は平年より大きく遅れていると考えられる。

草丈は172cmと、「ヒノデワセ」の平年より28cm低かった。

したがって、目下の作況は不良と判断される。

品 種 名	抽雄期(月日)			抽糸期(月日)			草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エ マ	8.16	- <sup>1)</sup>	-	未 <sup>2)</sup>	8.17 <sup>3)</sup>	-	172	-	-	14.6	-	-
ヒノデワセ	-	8.4	-	-	8.12	-	-	200	-	-	13.8	-)

1) 「エマ」の抽雄期及び草丈、出葉数には過去のデータが無いため、平年値は掲載しない。

参考として、下段に昨年まで供試していた「ヒノデワセ」の平年値（平成7年～13年のうち豊凶の平成7年および13年を除く5か年の平均値）を掲載。

2) 「未」は、調査時点までにその生育ステージに到達していなかったことを示す。

3) 「エマ」の平年値は、本年と同様の耕種概要で「エマ」が供試された「品種比較試験」もしくは「系統適応性検定試験」の前7カ年の結果から、豊凶の平成8年および11年を除く5カ年の平均値。

## 2. 牧 草

### (1) 採草型（チモシー・アカクローバ混播）

作況：2番草 やや不良

#### 事 由

2番草：1番草の生育ステージが早く進み、収穫が平年よりも早かったことから、2番草は生育期間を56日で、刈取月日は7日早く収穫調査した。チモシーの出穂期は平年より9日早く、アカクローバの開花は12日早かった。チモシーの草丈は平年に比べて5cm低く、アカクローバの草丈は平年に比べて4cm高かった。

寒冷寡照により、乾物収量は2および3年目草地平均の平年対比指数が94とやや少なく、マメ科率は平年よりやや少なかった。

したがって、2番草の作況はやや不良と判断される。

		2 番 草								
草 地	草種	出穂・開花期(月日)			刈取り時草丈(cm)			刈取り月日(月日)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ノサップ」 2年目	TY	8.13	8.22	9	86	91	5	8.16	8.23	7
	RC	8.9	8.20	11	78	74	4	8.16	8.23	7
「ノサップ」 3年目	TY	8.13	8.22	9	83	87	4	8.16	8.23	7
	RC	8.9	8.21	12	76	72	4	8.16	8.23	7

		2 番 草									
草 地		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)				マメ科率(生草%)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比	本年	平年	比較
「ノサップ」	2年目	1,750	2,090	340	327	341	14	96	40.2	53.8	13.6
	3年目	1,778	2,132	354	332	359	27	92	47.5	42.2	5.3

注 1) TY：チモシー

RC：アカクローバ（2年目草地は「ホクセキ」、3年目草地は「サッポロ」）

2) 平年値：2年目草地は平成8年および12年を除く5か年平均値。

3年目草地は平成7年および13年を除く5か年平均値。

いずれもTY「ノサップ」およびRC「サッポロ」の混播草地。

3) は減を示す

(2) 放牧型（オーチャードグラス・ラジノクローバ混播）

作況：3番草 良  
4番草 平年並

事 由

3番草：草丈は平年に比べ、オーチャードグラスで5cm低く、ラジノクローバで2cm高かった。  
マメ科率は平年よりも6%ほど高く、乾物収量は平年対比指数が110と高かった。  
3番草の作況は良と判断される。

4番草：草丈は平年に比べ、オーチャードグラスは1cm高く、ラジノクローバは2cm低かった。  
したがって2番草の目下の作況は平年並と判断される。

草 地	草種	3 番 草						4 番 草		
		刈取り月日			草 丈(cm)			8月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「カミドリ」 2年目	OG	7.31	8.2	2	65	66	1	38	40	2
	LC	7.31	8.2	2	39	37	2	19	23	4
「カミドリ」 3年目	OG	7.31	8.1	1	63	72	9	41	41	0
	LC	7.31	8.1	1	40	38	2	23	23	0

草 地	3 番 草									
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)				マメ科率(生草%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比	本年	平年	比較
「カミドリ」2年目	1,496	1,363	133	207	178	29	116	49.0	38.1	10.9
3年目	1,654	1,807	153	224	218	6	103	39.3	38.2	1.1

注 1) OG：オーチャードグラス

LC：ラジノクローバ（品種「カリフォルニアラジノ」）

2) 平年値：2年目草地は平成7年および8年を除く5か年平均値

3年目草地は平成11年および13年を除く5か年平均値

3) は減を示す